

学校目標・経営方針	自己の課題に積極的に取り組み、創造する力と豊かな個性を身につけ、社会に貢献する生徒を育成する。
-----------	---

本年度の重点目標	1 積極的に学ぶ生徒を育てる。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 規範意識の向上を図り、社会性を育む。		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 心身を鍛え、豊かな人間性を育む。		C 不十分である。(4割以上)
	4 社会の問題を意識し、積極的に関わる態度を育てる。		D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価						
番号	評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	方策の評価指標	年度末評価(2月15日現在)		
				自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	積極的に学ぶ生徒を育成する	①自ら学び、考える力を育成するため、学習指導の工夫・改善に努める。	理解度に応じた指導の充実	・「理解度に応じた指導の充実」 →評価A39%、評価B51% ・「指導の工夫改善」 →評価A23%、評価B56%	B	教員同士が授業観察を行い、生徒の主体的・協働的な学習活動を工夫した。生徒の実態に応じて工夫・改善を行う。  生徒への個別の課外や面接指導が、進路実現に繋がった。課外については、より効果的な方法の検討・実施を行う。  各科目で、4つの力の中の1つを重点育成目標に掲げ取り組んだ。その力の育成状況を把握し、授業改善を行う。  体験的学習の内容を改善した結果、昨年度と比較して評価Aの数とABの合計が増えた。より内容の充実を図る。
		②基礎的・基本的な学力を身につけさせ、進路実現に結びつける。	実力診断テストの活用、課外の充実	・「課外や小論文・面接の個別指導の充実」 →評価A44%、評価B46%		
		③授業をととして4つの力(理解する力、収集する力、まとめる力、伝える力)を育む。	4つの力の向上	・「授業を通して4つの力の育成」 →評価A25%、評価B55%		
		④体験的な学習の重視と資格取得を奨励することで、専門的な知識・技能の修得を目指す。	産社・総学等における体験的学習の充実	・「体験的学習の充実」 →評価A35%、評価B51%		
2	規範意識を向上を図り、社会性を育む	①基本的な生活習慣を確立させる。	遅刻指導、あいさつ運動の充実	・「あいさつ習慣の確立」 →評価A53%、評価B37% ・「時間を守る指導の充実」 →評価A46%、評価B46%	A	運動部の生徒を中心に、大きな声であいさつをする習慣が身につけている。また、遅刻者数も減っている。今後も継続した指導を行う。  多くの生徒が頭髪服装検査の再検査を受けることなく、規則を守っている。検査方法を見直し、守れていない生徒への重点的な指導を行う。
		②集団生活のルールやマナーを身につけさせる。	服装頭髪指導の徹底	・「集団生活のルールやマナーの指導」 →評価A45%、評価B46%		
3	心身を鍛え、豊かな人間性を育む	①自己を正しく理解し、在り方・生き方について考えさせる取り組みを実践する。	自己理解、生き方・在り方を考える機会の充実	・「産社や総学の講話の効果」 →評価A35%、評価B49%	B	講話を通して自己理解や在り方生き方を考えさせ、進路選択に役立てることができ、評価Aが増えた。より内容の充実を図る。  昨年度とほぼ同様の効果が得られた。健康や命・防災に対して、より身近なこととして各自に意識させる。  部活動は学校の活性化やモラル・愛校心の育成に大きく寄与している。今後も活動の充実を図り、人間教育を行う。
		②健康と安全に対する意識を深める取り組みを実践する。	保健講話、生指講話、防災訓練の充実	・「健康や命を守る講話の充実」 →評価A28%、評価B54% ・「防災安全教育の充実」 →評価A30%、評価B52%		
		③部活動を活発にして、豊かな人間性を育む。	部活動における技術技能の向上、人間性の育成	・「部活動の充実」 →評価A60%、評価B34%		
4	社会の問題を意識し、積極的に関わる態度を育てる	①キャリア教育の充実を図り、個々の進路にむけての意識づけを行う。	進路意識を高める取組の充実	・「進路意識を高めるための総学やLHRの効果」 →評価A33%、評価B51%	B	系列選択指導や系列学習を通して、進路の目的を持たせ、進路を実現させた。今後もキャリア教育の充実を図り、生徒の意識を高める。  生徒は博学連携や修学旅行等より多くのことを学んだ。学んだことの活用や発展学習等を行い、理解を深めさせる。  地域の雪かきや清掃活動、交流会への参加を通して、生徒は社会の一員としての役割を自覚した。今後も主体的・積極的な取組を行う。
		②我が国の文化や伝統に触れ、大切にすることを向上させる機会を設定する。	産社・総学等における計画立案	・「日本の文化や伝統に触れる機会の充実」 →評価A39%、評価B51%		
		③地域社会及び世界の諸問題に目を向けさせる取り組みを実践する。	地域の諸行事への参加	・「地域交流への取組」 →評価A29%、評価B50%		

学校関係者評価	
実施日(平成28年3月11日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の中には進む道がまだ分からない、決まっていないという子供達もいると思う。学校生活の中で、見付けられるように指導をお願いしたい。</li> <li>○ ①②③④のいずれの評価項目においても、「①達成できた」との自己評価の数値が増えており、全体的に上昇傾向にある。先生方の継続的な授業改善の努力によって、生徒にとって「分かりやすい授業」が実施されていることがうかがえる。</li> <li>○ 今後は、新しく設定された③の目標に向けて、校内研修の工夫や評価方法の開発・改善などに努めてほしい。</li> <li>○ 主体性を持って行動し学んでいく力は、生徒が今後社会で活躍する上で、非常に重要であるが、指導方法が一朝一夕で確立されるものでもないと思われるので、時間を掛けて、試行錯誤しながら、より良い指導方法を確立してほしい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先生方やPTAの皆さまの指導もあり、ルールやマナーが毎年良くなっていると思う。</li> <li>○ マナーアップ運動の効果が出ているようで喜ばしく思う。街で見かける城西生にも他校に比べて良い印象がある。この調子で伸ばしてほしい。</li> <li>○ 集団生活に必要な挨拶・返事は大変良く、地域住民は大変好感をもっている。</li> <li>○ 遅刻者の減少は目に見えて分かる成果であり、引き続き、遅刻指導等を継続してほしい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多くの経験を積めることが他校にはない甲府城西高校の特色だと思ふ。進路決定に直接つながらなかったとしても、経験は豊かな人間性を育む一助になる。より多くの生徒にいろいろな経験を積む機会をあげてほしい。</li> <li>○ 通学時のマナーも、春先に比べて大変良くなっていると感じている。今後とも自身の生き方や日頃の生活習慣、マナーを振り返り、自己成長への意欲の高い生徒の育成に努めてほしい。</li> <li>○ 野球・アーチェリーなどの戦績が、生徒さんに甲府城西高校生としての誇りと自信に繋がっていると思う。</li> <li>○ 安全に関して、通学時の事故防止の指導を継続して実施してほしい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会人に必要な最低限の知識や行動の大切さを強く指導してほしい。</li> <li>○ キャリア関連の授業において、体験授業や地域人材による講話など、効果的なプログラムが提供されている。今後ともさらに多くの外部人材・団体との交流を深め、学習・指導内容の充実・工夫を図ってほしい。</li> <li>○ キャリア教育について、家庭での協力が得られにくいケースがある。授業に生徒と一緒に参加させて、家庭で進路について話し合うきっかけ作りをしてはどうかと思う。</li> <li>○ 総合学科の学校とすれば、キャリア教育の充実には必要不可欠であり、今後も力を入れて取り組んでほしい。</li> </ul>